



成隣だより

令和2年6月1日
第3号
昭島市立成隣小学校
校長 星野 典靖

いよいよ学校再開！

校長 星野 典靖

新型コロナウイルスの感染拡大防止のための緊急事態宣言を受けて4月7日から始まった臨時休業ですが、5月25日の緊急事態宣言の解除を受け、6月1日からいよいよ学校が再開されることになりました。

昭島市が策定した再開プログラムに基づき、5月11日から相談日を設けて各学年3回ずつ実施しました。その際、久しぶりに子供たちと会いましたが、どの子も久しぶりの学校にとっても嬉しそうにしていました。従来でしたら元気な声が響いていたと思いますが、友達との接触で感染のリスク高めてしまうことを理解している成隣小の子供たちは、自制心のある行動ができていて、とても立派でした。それも保護者の皆様や地域の皆様がしっかりと自粛を続けて範を示し、子供たちもそれを見習ってしっかりと我慢することが出来たからだと思います。本当に素晴らしいことです。

今日6月1日から、いよいよ全学年が同じ日に学校へ来る分散登校が始まりました。これから4日間でしっかりと生活のリズムをつくり、5日からの全学年午前授業に向けて心と体を整えて欲しいと考えています。そして、6月5日には初めて学級の仲間全員が教室に集い、11日からは給食も始まって本格的な授業がスタートします。学校生活が再開する喜びと不安がともにあると思いますが、5月の学校だよりでお伝えしたように新型コロナウイルスの感染拡大防止を徹底しながら「人とのつながりを大切にして魅力ある学校をつくる」をテーマとして教育活動をすすめてまいります。

しかし、学校再開とはいえ、これからの教育活動は三密（密閉・密集・密接）を避け、感染防止に努めながらすすめていくこととなります。

生活面では、感染予防のためのマスク着用、石鹸での手洗いの徹底、社会的距離を保った活動等、新しいことがたくさんあります。安全・安心に生活するためにはこれらを常に意識して行動していくことが必要となります。学習面では、隣の人と話し合ったり、班をつくってグループ学習をしたりすることができません。よく子供は順応するのが早いといわれますが、日本の学校教育の歴史の中で初めてのことなのですから戸惑って当たり前です。しかし、制約の多い中だからこそ、自制心、思いやり、公德心、生命尊重等、様々な道徳的価値を学んでくれるのではと期待しています。「ピンチはチャンス」ととらえ、教育活動をすすめてまいります。

さて、本日「新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」と「うつさない、うつらないための学校生活」を配布しました。「成隣小学校 新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」は、①朝～登校 ②教室 ③ろう下・教室移動 ④外遊び・運動 ⑤体育授業 ⑥給食 ⑦下校・そうじ の7つの項目についての取り組みが記してあります。「うつさない、うつらないための学校生活」は健康を守る6つの項目についての取り組みが記してあります。ぜひ、お子様と一緒に内容についてご確認ください。また、ご家庭に掲示していただき、常日頃から意識できる環境をつくっていただければありがたいです。

また、6月以降の学習内容、授業時数、学校行事、通知票、保護者会や授業参観の持ち方等につきましては、6月5日（金）に詳しい文書を配布する予定ですので、もうしばらくお待ちください。（それまでは新しい学習用具等の購入はお控えいただくようお願いいたします。）

いつか新型コロナウイルスが終息し、子供たち、保護者の皆様、地域の皆様、そして本校の教職員が何の制約もなく笑顔で楽しく様々な活動ができる日まで、力を合わせて頑張っていきましょう！どうぞ、よろしくお願いたします。